

学校番号	学 校 名	校 長 名
36	川崎市立菅生中学校	田中 理恵

学校教育目標	今年度の重点目標
<知・情・意・体の調和のとれた人間形成をめざす> 1、教養のある文化人（知） 2、情緒豊かな人（情） 3、たくましい実践力（意） 4、強じんな体力（体）	「凡事徹底」 ○「あいさつ」の励行 ○整理整頓 ○掃除

評価項目		具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	学びの保障	・授業力向上 ・わかる授業、個に応じた指導の充実	・総合教育センターの拡大要請訪問を実施し研修を行うことで、授業力の向上を図り、今後の授業に活かせるようになった ・GIGA端末の使用は、個々の能力に合わせた授業展開に有効であった。特に調べ学習においては迅速に対応できる特性を活かすことができた ・各教科内での情報交換を密に行うことで、進度や定期テスト作問、評価の確認等に有効であった	・具体的な研修課題を明示することにより、より一層の授業力の向上に結び付けたい ・生徒個々の学力にはある程度の差があり、その克服のためにきめの細かい対応が必要となっていく ・GIGA端末の使用に関しては、個・全体のより有効な使用について考えていきたい
2	人権教育の充実といじめ不登校対策	・人権意識の向上を図るための研修や取り組みの実践 ・いじめ防止の取り組みと研修、早期発見と指導対応の徹底 ・学習室の充実に向けての取り組み	・教育政策室事業の子どもの権利学習派遣事業のプログラムを実施することで、人権に対する意識を生徒、教職員とも高めていくことができた ・いじめの対応については、反省すべき点が多くあり課題があると受け止めている。いじめは絶対に許さないという姿勢を強く示し、生徒の様子を普段から観察し、少しの変化も見逃さないという教師側の取り組みを進めていく ・毎週行われる主任会や職員会議等で、情報交換を行った。また、問題が発覚した場合は、生徒指導担当や支援教育COとも連携し、対応を考えることができた ・外部機関との情報交換はCOを通して行い、学年主任や担任と連携に努めた。また、学校だけで解決できないケースの場合は、外部機関の支援を受けることで対応することができた ・学習室の充実化を図るため、教育サポーターの複数配置を行い、また、教員のローテーションできめの細かい対応ができた ・毎週火曜日のSCとの連携で、生徒や保護者への相談を行い、学年との連携を促進できた	・今後も可能なかぎり、子どもの権利学習派遣事業や研修を実施し、意識向上を図っていきたい ・今後もいじめに関して、未然防止や迅速な対応など教職員一同、真摯に行っていく。またSNS絡みの事案が多いので、スマートフォンの使用についての生徒や保護者への講演会を早い段階で行っていくことが必要であると考えている ・情報交換の重要性を改めて認識し行っていく
3	キャリア教育とあいさつの励行	・校外学習の実施 ・職場体験の実施 ・朝のあいさつ運動を通したあいさつの励行	・リーダーを中心に自分達でコースを調べ、併せてルールも決める。それに基づいて行動することにより、リーダーの育成、生徒各自の自覚と責任を育成することができた ・職場体験については、業者に調整等を委託したことにより、スムーズな受け入れ先の確保、実施ができた。実際に社会に出て働くことの大変さや学校では味わうことのできない貴重な体験を通して、人間形成に大いに役立った ・あいさつの励行は、生活委員会を中心に「朝のあいさつ運動」を実施、活気ある学校生活を送る基礎基本として意識するようになってきた	・生徒を主体とした取り組みを徹底することを教師側が意識する。事前学習や活動におけるGIGA端末の活用は大変有効で、今後の更なる活用方法を検討していく ・生徒に対し職場体験の意義の徹底を図ることで、単なる体験に留まらずに、これからの学校、卒業後の生活に活かせるようにさせていくことが、大切である

4	環境整備と防災教育	・昨年度から3年計画で始まった校舎再生工事への対応 ・環境が与える影響を認識し、普段から環境整備を心掛ける ・防災教育推進校として、防災教育を進め	・昨年度から始まった校舎再生工事、第1・2期工事が終了した箇所の環境維持を徹底していく ・破損の修理を迅速に行い、常に快適な環境の維持に努めた ・防災教育を全校で進め、生徒教職員の防災意識が高まった	・3年計画の校舎再生工事完了は来年度となるが、安全安心な環境で実施、引っ越し等行えるように努める ・清掃の大切さは認識はしているものの実践が伴わない。更なる意識付けは必要と考える。また、用具の充実を図っていききたい。 ・防災教育を今後も推進し、防災意識、危機管理意識を高めるための取り組みを考えていききたい
---	-----------	---	---	---

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
・落ち着いた雰囲気の中、生徒は安心安全な環境の中で学校生活を送っている。学校評価アンケートの結果からも感じることができる ・学校の土日祝日開催の地域行事への理解と協力は大変ありがたい。その行事等を生徒に地域に貢献している価値づけや意識づけを行う必要がある ・学校・PTA・懇話会を始めとする地域と一体となって、生徒の成長を支えていききたい	・働き方改革、行事の精選、部活動の在り方、GIGA端末を使った授業展開、SNSトラブル、不登校対策等と、早急に解決しなければならない課題が山積しているのが現状である。どの課題に対しても丁寧に対応していきたい ・学びの保障は学校教育の柱である。生徒の学力向上のためには、教職員の授業力向上は欠かせないだけに、校内授業研修等を実施し授業力向上をはかっていきたい。また、生徒の学力定着のためにもわかる授業の実現に向けて研鑽を積んでいきたい ・環境整備は学校の安定発展には欠くことのできないものである。改修後の校舎を維持するためにも環境の整備、清掃活動の充実を進めていきたい ・人権教育は、生徒が安心安全に過ごしやすい雰囲気を作り出すことに繋がる。特にいじめ問題は、人権を著しく損なうだけに、情報交換を密にして教職員の連携を図り防止に努めていきたい。もし発覚した場合は、迅速な対応と指導を行い、再発防止に努めていく 学校・家庭・地域の信頼関係をより強め、子どもを真ん中に連携・協力し、教職員がしっかりと生徒や保護者に寄り添う態勢を確立し、地域の中で本校らしい学校経営を推進していきたい。